

小規模多機能型居宅介護・認知症対応型共同生活介護 「城山庵」

運営推進会議

期 日：平成 30 年 3 月 13 日（火）

時 間：午後 13 時 30 分～

会 場：城山庵 グループホーム

次 第

- ① はじめに
- ② 「城山庵」の実績・行事報告
- ③ 小規模外部評価の報告
- ④ 事例検討
- ⑤ その他
- ⑥ おわりに

小規模多機能型居宅介護

平成 30 年 2 月

登録人数 15 人 (男性 1 名 女性 14 名)

平均介護度 1.93

要支援 2…2 名 要介護 1…4 名 要介護 2…6 名
要介護 3…2 名 要介護 5…1 名

平均年齢 86.67 歳

利用統計

	平成 30 年 2 月
通いサービス	177 回
訪問サービス	94 回
泊まりサービス	9 回
平均利用回数/週	5.1/W

認知症対応型共同生活介護

平成 30 年 2 月

入所者数 9 名 (男性 1 名 女性 8 名)

平均介護度 1.89

要介護 1…3 名 要介護 2…4 名 要介護 3…2 名

平均年齢 86.78 歳

城山庵行事報告

《節分 2/3》

職員が青鬼とお多福に扮して利用者の「無病息災」を祈りました。中国では節分を季節の始まりの前日とし、特に「立春」前の節分の日には邪気（鬼）払いをするようになりました。柊鰯を飾ったり、大晦日と同じように年越しのそばを食べる風習があるそうです。柊鰯は、鬼がいわしの臭いを嫌い、柊の尖った葉を怖がる事から魔よけとして使われたようです。午前中はジョイフルの会の皆さんが日舞や手品を披露して下さり、昼には恵方巻きにあやかって巻き寿司とおそばをいただきました。GHの利用者の居室や小規模利用者は送りの時に豆をまいて1年の無病息災を祈りました。

《2月誕生会 2/20》

今回初めて吉武の語り部の方をお招きし、武丸正助さんの話を利用者と一緒に朗読しました。初めは読む事に戸惑われ、できないと言われた方も、少しずつ慣れて読めるようになりました。日頃はボランティアの出し物を鑑賞することが多いのですが、参加型の会で利用者の意外な力を発見する事ができました。



《地域域講演 2/14》

ひかりヶ丘公民館で「認知症のはなし」をしました。34名の方が参加され、特に男性の参加者が多かったようです。馴染みの歌を歌いながら計算問題やシナプソロジーをしました。一見、簡単そうに見えますが、なかなかうまくできず、会場はいつの間にか、笑いがおこっていました。

《石丸区お雛さま祭り 3/3》

石丸公民館でおひなさまにちなんだ地域の方の作品を見てきました。さげもんなど手芸の作品を利用者も興味深げに見て回られました。年々作品数も多くなり、見ごたえのある催しになっていました。



《ひなまつり会 3/3》

利用者には人形の飾りつけを教わりながら今年は小規模のフロアに雛人形を展示しました。ひなまつり会では利用者がうちかけを羽織って記念写真を撮ったり、簡単な和歌を作ってもらいました。食事は節句にちなみ、ちらし寿司や貝のおすましをいただきました。おやつは手作りの甘酒で子供の頃を思い出すひと時でした。

《これからの予定》

- 3/14 赤間病院在宅部発表会
地域講演「認知症のお話」
原町公民館
- 3/23 城山庵 卒業式
- 3/25 赤間保育園卒業式
- 3/26 吉武民生委員見学
- 3月下旬～4月上旬 桜の花見



議事録

平成 30 年 3 月 13 日

平成 29 年度 第 6 回運営推進会議		出席者 平田委員 石松委員 戸丸委員 安部委員 副田委員 (高齢者支援課) 後藤委員 (小規模利用者家族) 井村委員 (GH利用者家族) 城山庵：田中部長 (代表者) 小方 (管理者) 幸田 (小規模計画作成担当者) 添田 (GH計画作成担当者) 書記：添田
自：13時30分	開催日 平成30年3月13日(火)	
至：15時20分	場所 城山庵 GHフロアー	
議題 ① はじめに ② 「城山庵」の実績・行事報告 ③ 小規模外部評価の報告 ④ 事例検討 ⑤ その他 ⑥ おわりに		
① はじめに	(平田委員) (「100歳人生を生きるヒント」の本の内容について紹介) このような本を書く人は、往々にして裕福ですが、その日暮らしの老後を迎えている方も多し。自分が体験していない事は分かりませんが、介護をされている方は寄り添いながら介護されていると思います。ぜひ頑張って欲しい。	
② 「城山庵」の実績・行事報告	*添田より資料に添って説明 ・小規模は登録16人で通いサービス177回、訪問サービス94回、泊りサービス9回で、平均利用回数5.1/Wです。 ・GHは2/1に新規利用者が入居されました。 (平田委員) 通いの利用回数が、前回より減っていますね。 (小方) 入院されて利用が中止になったり、2月は、28日までしか日数がなく、雪が降ってお休みされた方が多かった事が影響しています。 (平田委員) 3/14の地域講演はどなたがお話されますか。 (小方) 私が話します。以前、大穂で講演をしましたが、その口コミで原町から依頼がありました。 (井村委員) 卒業式とは、どんなことをされるのですか。 (小方) 昨年、利用者さんにしたいことを尋ねたら、入学式をしたいという希望がありおこなったので、入学式があるなら卒業式もやろうという事になりました。利用者が1年間頑張ってきた事をご家族にもお知らせしたいと思います。前回、石松さんから提案いただいた民生委員さんの見学は、3/26に予定しています。 (石松委員) 小規模多機能とはどういう所かを学ぶ研修になればと思っています。民生委員8名中、6名が参加します。 (小方) 資料はこの前、お見せしたものを使って一緒に考えて行くようにしたいと思います。 (後藤委員) 時間が合えば、私も参加します。 (平田委員) 私も、時間が合えば参加します。	

③小規模外部
評価の報告

- (小方) ありがとうございます。宜しくお願いします。
- (田中部長) 地域講演は、H20 年から始めて一度行った所からも依頼があり、そこからの評判で別の所からも依頼があります。最近「認知症」の講演依頼が多いですね。
- (小方) 認知症予防が簡単にできるシナプソロジー等を、その時紹介しています。近頃は医療の進歩で健康が安定してきているので、次は、認知症が心配になるのでしょうか。
- (平田委員) 認知症は、治すのは難しいが進行を緩やかにする事はできますからね。
- (石松委員) 運転免許の更新時にも 70 歳を過ぎると認知症テストがあり、合格できなければ、2～3 時間講習を受けます。場合によっては、専門医を勧められるようです。

*幸田より資料に添って報告する

- (小方) 改善計画は推進委員さんに負担がかからないよう、できるだけ避難訓練と会議を一緒にやる等工夫したいと思います。
- 毎年、改善計画を会議と一緒に立案しなければならず、他の事業所の評価を見ても改善計画を継続している所が多いようです。
- (石松委員) Dの地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組みとは、この利用者の暮らしを支える取り組みと、とらえていいのですか。
- (小方) 地域のとらえ方が、施設のある地域と利用者の住んでいる地域の両方の意味があると思います。
- (石松委員) 高齢者に対しては、地域では民生委員と福祉会の両方が関わっているので、連携する必要があります。民生委員が、地域包括等の専門部署と連携する事が大事ですね。
- (井村委員) ごみ出し、電球替え、徘徊していないかの見守り、排泄のトラブル等色々問題が出てきます。宗像市は、徘徊探索訓練はしていますか。
- (副田委員) 訓練はしていませんが、徘徊探知機やメールで配信し探索する手段があります。警察に行方不明の相談があった場合に、警察から勧められて登録に来られる方もいます。
- (小方) 登録は増えているのですか。
- (副田委員) ひと月に何人かはいらっしゃいます。
- (石松委員) 要支援 1～2 の人は地域で面倒見なさいと放置されている傾向がある気がします。吉武では、いろんな居場所を作り、住民が皆で気をつけ合う環境作りをしています。つたがたけサロンや出前講座等今ある仕組みでも環境づくりができるといいですね。
- (副田委員) 平成 30 年度には、電球替えやごみ出し等を、コミュニティ単位、自治会単位で行えるような補助制度を計画しています。
- (小方) 小規模は 15 人の登録利用者がいますが、家族と同居している場合は大丈夫ですが、1 人暮らしの場合は、近隣が助ける地域とのネットワークが必要になります。

	<p>(安部委員) 地域の民生委員と連携をとって、近所に声をかけたり老人会の会員になってもらったりして、地域のネットワークを組むといいですね。今は、縦割りになっているのが問題ですね。</p> <p>(石松委員) ネットワークも網目の大きさが肝心です。吉武は高齢化率 43%にもかかわらず大事件は起きていません。向こう 3 軒両隣のお茶飲み会、運動会、文化祭、おこもり、吉武福祉里づくり会の映画等、全体的にネットワークを作っています。防災訓練もそうとらえたいと思います。</p> <p>(小方) また、吉武と赤間でも住んでいる方の年齢層の違いなどから、取り組みも違うのでしょうか。</p> <p>* 推進会議で小規模外部評価を承認いただき、確定する。事業所評価と総括表は市役所に提出した後、法人ホームページに掲載する。</p>
④事例検討	<p>* 小方から 80 歳代の夫婦の事例を紹介し、推進委員の方と意見交換をおこなった。</p> <p>(戸丸委員) 小規模を利用していると訪問看護は利用できないのですか。</p> <p>(小方) 単位数の問題もありますが、週に 1 回程度なら限度額内で利用できると思います。</p> <p>(石松委員) 近所の友人や民生委員等地域の人が薬を持って行くなど手伝えないのですか。</p> <p>(小方) ごみ出しやお話相手ならいいと思いますが、朝、昼、夕、寝る前と 1 日 4 回の薬を、地域の方に持って行っていただくのは負担が大きいと思います。このケースでは、朝は毎日ヘルパーが自宅に薬を持っていき、昼は医療保険のデイケアと小規模の通いを併用して利用しているのでそこで服薬し、夕方は家族が毎日食事の支援で来られるので家族が対応し、寝る前の薬は小規模から毎日持って行くようにしています。日曜日は家でゆっくり過ごす日にして昼にヘルパーが薬を持って訪問します。</p> <p>(石松委員) 家族が体調崩すとプランも成り立たなくなりますね。</p> <p>(小方) そうですね。そのために家族が用事で来れない時は、ヘルパーが家族の代わりに対応しています。ご家族もたまには気晴らしに出かける事もあります。このケース以外でも小規模多機能のサービスは、通いでは夜まで利用を受け入れたり、同じ場所にショートステイもできるので、状況に応じて対応しています。</p> <p>(石松委員) 3 月 26 日の研修は、このような事例を出していただけると解りやすいですね。</p>
⑤その他	<p>* つたがたけサロンについて</p> <p>(田中部長) 3/16 (金) に、つたがたけサロンで赤間病院誕生から現在までのふりかえりを、理事長である副院長がお話をします。皆さんぜひ、御参加下さい。</p>

⑥おわりに	<p>*不養生のすすめについて (平田委員より「除菌、抗菌」はやりすぎ禁物の資料を配布) (平田委員) 清潔さを求めすぎ「ばい菌」を無理に排除するほど人間は、生来身につけていた抵抗力を失っていくようだ。神経質になり過ぎず、おらかな暮らし方に回帰しましょう。</p> <p>次回、H30 年度、第 1 回運営推進会議は、つたがたけと合同で開催。 日時：5/22 (火) 13:30～ 場所：赤間病院 4 階会議室</p>
-------	---